

## CentreCOM® Secure HUB XS900MXシリーズ



AT-XS916MXT  
AT-XS916MXS



SFP+モジュール  
AT-SP10TM  
AT-SP10SR  
AT-SP10LRa/I  
AT-SP10ER40a/I  
AT-SP10ZR80/I  
AT-SP10TW1・3



SFPモジュール  
AT-SPTXc  
AT-SPSX  
AT-SPSX2  
AT-SPLX10a  
AT-SPLX40



スタックモジュール  
AT-StackXS/1.0

マネージメントケーブル  
AT-VT-Kit3



Switch



AT-XS916MXT

100/1000/10GT  
12Ports自動認識

SFP/SFP+  
4Slots

AT-XS916MXS

100/1000/10GT  
4Ports自動認識

SFP/SFP+  
12Slots

AT-XS916MXTは100/1000/10GBASE-Tポートを12ポートとSFP/SFP+スロットを4スロット、AT-XS916MXSは100/1000/10GBASE-Tポートを4ポートとSFP/SFP+スロットを12スロット装備した10ギガビットイーサネット・インテリジェントスイッチです。

ビジネスの拡大やスマートデバイスの急速な普及により、エンタープライズ・ネットワークのトラフィックも増加の一途をたどっています。AT-XS916MXT / AT-XS916MXSは全ポートが10ギガビット・イーサネットに対応、拡張性・信頼性の高いネットワークを構築できるので、増加を続けるトラフィック需要に確実に応えます。

CentreCOM Secure HUB XS900MXシリーズは、エンタープライズ・ネットワークの10ギガビットアクセススイッチとして、あるいは10ギガビットのアップリンクに対応する中継スイッチとして使用することができます。またサーバーやストレージを接続するためのコアスイッチとしてしての使用も可能です。

CentreCOM Secure HUB XS900MXシリーズは、AMF Plus非対応のデバイスとAMF PlusネットワークをつなげるHUBとして最適なコストパフォーマンスと機能セットを提供します。AMF PlusネットワークのエッジにCentreCOM Secure HUB XS900MXシリーズを配置し、それらにAMF Plus対応または非対応デバイスを接続することで、AMF Plusによるネットワーク全体の統合管理を適切なコストで実現します。

エンタープライズアプリケーションとの連携でサイバーセキュリティー対策を強化するソリューション、AMF-SEC (AMF-SECurity) に対応します。

OPTION

■ SFPモジュール

■ SFP+モジュール

■ スタックモジュール

■ 19"ラックマウントキット

■ 壁設置ブラケット

■ スタンドキット

■ L字型電源ケーブル

■ コンソールケーブル

■ フィチャーライセンス

## 特長

### ● AlliedWare Plus (AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に削減することができます。

### ● ネットワークインフラのユニファイド化

Autonomous Management Framework (AMF) は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMF Plusは統合管理を行うAMF Plusマスターと管理されるAMF Plusメンバーからなり、5つの機能によりネットワークの統合管理を行います。

また、AMF Plusは日々ネットワークの状態を収集分析によって学習し、AT-Vista Manager EXと組み合わせてお使いいただくことで、あらかじめ定義されたポリシーを用いて自動的にネットワークを最適な状態に保ちます。蓄積したデータを数値化することにより、担当者の経験で行われていた業務を平易な作業に落とし込むことができます。

#### ● 一元管理 (セントライズドマネージメント)

AMF Plusマスターから多数のAMF Plusメンバーを一元管理します。

#### ● 自動構築 (オートレジリエントコネクション)

AMF Plusネットワークの自動構築およびAMF Plusメンバーの自動認識を行います。

#### ● 自動復旧 (スマートプロビジョニング)

AMF Plusメンバー設置時の自動設定 (ゼロタッチインストール)、AMF Plusメンバー故障時における交換機器の自動復旧 (オートリカバリー)、複数AMF Plusメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。

#### ● 非AMF Plus装置対応 (ワイドエリアバーチャルリンク)

非AMF Plus装置の混在や広域商用回線を介したAMF Plusネットワークの構築が可能です。

#### ● 分散マスター処理 (AMF Plusコントローラー)

AMF Plusマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。

さらに、AMF PlusとAT-Vista Manager EXと連携させることにより収集・分析されたネットワーク全体の情報を俯瞰的に可視化し、ネットワーク管理者の意図に基づいてネットワークを最適な状態に保ちます。

XS900MXシリーズはAMF Plusメンバー (エッジノード) ※1に対応しており、10ギガの集約としての利用やVCS構成で冗長性を高めた利用など、AMF PlusネットワークとAMF Plus非対応機器のエッジネットワークを接続させるHUBの役割を持つエッジ・スイッチとして最適です。

※1 AMF Plusメンバー (エッジノード) はAMF仮想リンクには対応していません。また、AMF Plusネットワークへの接続がAMF Plusリンク1本に限定されます。

### ● EPSR

EPSR (RFC3619) は、リング構成のネットワークにおいて、レイヤー2レベルでの障害の検出と経路の切り替えをより高速に行います (最短50ミリ秒未満)。本製品は、EPSRリング内にトランジットノードとして接続することができます。

### ● VCS (バーチャルシャーシスタック)

本体100/1000/10GBASE-Tポート、またはオプション (別売) のスタックモジュールAT-StackXS/1.0を使用して、2台のXS900MXシリーズでVCSを構成することができます。最大28の10Gインターフェースを1台のVCSグループに搭載できるため、10Gの高い収容率を実現できるだけでなく、管理性の向上により、運用・管理コストの削減が可能です。

### ● ループガード

接続ミスなどで発生するネットワークのループを検出し、設定した動作 (ポートディセーブルなど) を自動実行するループガードに対応しています。

### ● UDLD (UniDirectional Link Detection)

ツイストペアケーブルや光ケーブルの物理接続構成をモニターし、スパニングツリートポロジのループなど様々なトラブルの原因となる単一方向リンクの検出が可能なUDLDをサポート。

UDLDで対になっているどちらかのリンクが切断された場合、自動でシャットダウンし、単一方向リンクを回避します。UDLDを用いることにより、物理層と連携してリンク異常を検知できるため、ネットワークの信頼性が向上します。

### ● 充実したセキュリティー機能

#### ● 強固な認証機能

同一ポート上でIEEE 802.1X認証/Web認証/MACアドレスベース認証の混在を可能とするTri-Auth機能や、同一ポート上でユーザーごとに別々の認証方式で認証し、かつ異なるVLANを動的に付与するマルチプルダイナミックVLAN機能など様々な認証機能に対応し、柔軟な認証環境を実現します。

- Tri-Auth、マルチプルダイナミックVLAN、エンハンストゲストVLAN、Auth-fail VLAN、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証に対応

#### ● 多彩なセキュリティー機能

通信内容を暗号化し、安全なリモートアクセス環境を実現するSSH、ネットワークの集中管理・運用面において、安全性と利便性・運用性を両立するSNMPv3の暗号化・認証機能など、様々なセキュリティー機能をサポートしています。

- ポートセキュリティー、SSH (Secure Shell)、DHCPスヌーピング、SNMPv3、ユーザー認証データベース (RADIUS/TACACS+ 認証) に対応

#### ● 高温度環境対応

XS900MXシリーズは、動作環境温度0 ~ 50℃までに対応しているため、高温度環境下への設置が可能です。

## 特長

### ● AMF-SECソリューション対応

AMF-SEC (AMF-SECurity) は、ファイアウォールやUTMなどのセキュリティ・アプライアンスや、人材管理・資産管理などのビジネス・アプリケーションなどとネットワーク機器を連携させ、ネットワークも含めたITシステムの設定変更やセキュリティ管理を自動化するソリューションです。

本製品は、AMF-SECソリューションにおけるエッジ・スイッチとして動作し、例えばファイアウォールと連携するとファイアウォールが検知した被疑情報をもとに、該当する被疑端末が接続されているスイッチのポートを自動的に遮断することで被疑端末の隔離ができます。これによりIoT端末などでのLAN内の二次感染を防ぐことが可能です。

※2 サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AMF-SECコントローラー (AT-SESC/AMF Security) です。また、構成によって最低限必要なライセンスが異なります。AMF-SECコントローラー、および連携可能なアプリケーションについては、弊社ホームページにてご確認ください。

### ● Web GUIを用いた直感的な管理

Webブラウザから機器の情報表示や設定が可能なWeb GUIを標準でサポートします。

管理者のスキルレベルを問わない、直感的なネットワーク管理が可能です。

### ● 日本語に対応したインターフェース

日本語表示に対応し、Webブラウザからの視覚的な設定・管理が可能です。

### ● ダッシュボード

ポートの状態、トラフィック統計情報、システム情報など視覚的に表示します。各種情報を要約して表示できるため、複雑なネットワーク情報を簡単に把握できます。

### ● ネットワーク設定

VLANインターフェースやインターフェースのIPアドレス、スタティック経路の追加・変更・削除が可能です。

### ● セキュリティー設定

ハードウェアアクセスリスト (ACL) の作成やインターフェースへの設定、変更が可能です。

### ● システム設定

システム情報や動作環境の詳細、システムログの閲覧などが可能です。

### ● RESTCONF/NETCONF

RESTCONF/NETCONFを使用した機器の各種情報の取得をサポートしております。従来のSNMP管理と比較して、より柔軟な管理、管理者の運用負荷やコストを削減したネットワーク管理を実現可能です。

## 仕様

準拠規格	IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX*1 IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3bz 2.5GBASE-T/5GBASE-T*1 IEEE 802.3ae 10GBASE-ER/LR/SR*1 IEEE 802.3an 10GBASE-T IEEE 802.3x Flow Control IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet*2 IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree*3 IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree*4 IEEE 802.1X Port Based Network Access Control IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic)*5 IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol	
適合規格	CE 安全規格 UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1 EMI規格 VCCIクラスA EU RoHS指令	
マネージメント*6	SNMP	SNMPv1/v2c/v3
	SNMP MIB	MIB II (RFC1213) IP Forwarding Table (RFC2096) Extended Bridge MIB (RFC2674)*7 Extended Interface MIB (RFC2863) SNMPv3 MIB (RFC3411~RFC3415) SNMPv2 MIB (RFC3418) Ethernet MIB (RFC3635) IEEE 802.3 MAUs MIB (RFC3636) BridgeMIB (RFC4188) RSTP MIB (RFC4318) DISMAN ping MIB (RFC4560) Entity MIB (RFC6933) LLDP MIB (IEEE 802.1AB) LLDP-MED MIB (ANSI/TIA-1057) Private MIB
	RMON	1,2,3,9 Group
	ターミナル	Telnet, VT100 互換端末(コンソールポート経由)
通信速度	100Mbps/1000Mbps/2.5Gbps*1/5Gbps*1/10Gbps	
ポート	—	AT-XS916MXT AT-XS916MXS
	100/1000/10GBASE-T (RJ-45コネクタ)	×12 ×4
	オートネゴシエーション*8 100M/1000M/10G Full 固定設定 MDI/MDI-X自動認識	
	SFP/SFP+スロット*9	×4 ×12
	RS-232 (RJ-45コネクタ)*10	×1 ×1
	USBポート (USB 2.0, タイプA (メス))*11	×1 ×1

使用ケーブル	100BASE-TX 1000BASE-T 10GBASE-T	UTP カテゴリ 5以上 UTP エンハンスド・カテゴリ 5以上 UTP/STP カテゴリ 6以上*12
切替スイッチ	LED ON/OFF ボタン	LEDの消灯(エコLED)、通常動作の切り替え
パフォーマンス	スイッチング方式 最大パケット転送能力 (装置全体/64Byte) スイッチング・ファブリック メモリ容量 MAC アドレス登録数 VLAN登録数 IPv4 ホスト (ARP) 登録数 IPv4 ルート登録数	ストア&フォワード 238.08Mpps 320Gbps フラッシュメモリ 128MByte メインメモリ 1GByte 16K*13 4,094個 (VID=1~4,094) 1,536 16*14
サポート機能 [ベーシック機能]	AMF Plusメンバー (エッジノード) 機能*15、 IPv4スタティックルーティング(16ルート)、RIPv1/v2(16ルート)、 IPルートフィルタ、ハードウェアパケットフィルタ、マルチホーミング、 VLAN(ポートベース/IEEE 802.1Qタグベース/IPサブネットベース/プロトコルベース)、マルチプルVLAN、 QoS(IEEE 802.1p/ポリシーベース/メータリング/シェーピング)、 ポートリンク(IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration)、 パケットストームプロテクション(ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャストパケットフィルタリング)、 スパンニングツリー (IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s)、 BPDUガード、BPDUフィルタ、スパンニングツリーポートファスト、 PVST+ Compatibility、イーサネットリングプロテクション(EPSR)、 EPSRエンハンストリカバリー、 EPSRスーパーループプリベンション (EPSR-SLP)、ポート帯域制限、 ポートミラーリング、ポートセキュリティ、フローコントロール*16、 LLDP、LLDP-MED、Voice VLAN、 ループガード(LDF検出/MACスラッシング検出/受信レート検出(QoSストームプロテクション))、 IEEE 802.1X認証モード(Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication)、802.1X暗号方式(MD5/TLS/TTLS/PEAP)、 ダイナミックVLAN、L3モードエンハンストゲストVLAN、 Auth-fail VLAN、マルチプルダイナミックVLAN、マルチVLANセッション、 MACアドレスベース認証、Supplicant MAC認証、Web認証、 プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証、 ポート認証設定テンプレート化、ケーブル診断、RADIUSクライアント、 TACACS+(Accounting/Authentication/Logging)、 IGMPv1/v2/v3スヌーピング、EAP/BPDU透過、Jumboフレーム対応*17、 バーチャルシャニスタック、スイッチポートレジリエンシーリンク、 BOOTP/DHCPリレー、DNSリレー、DHCPクライアント、 DHCPスヌーピング、Pingポーリング、ARP、プロキシ ARP、 ローカルプロキシ ARP、SMTP認証、ログ(外部メディア出力対応)、 スクリプト、トリガー、USBトリガー、NETCONF、NTPクライアント、 Secure Shell、	

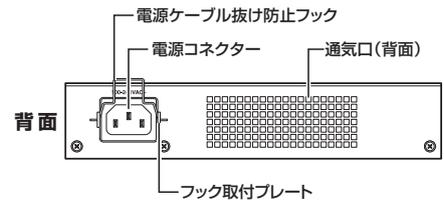
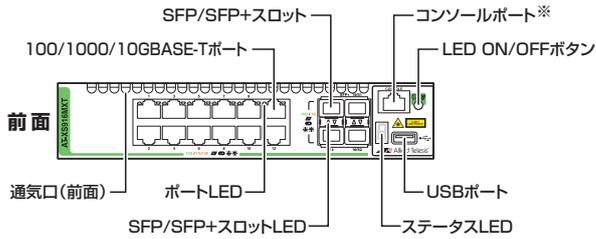
# CentreCOM® Secure HUB XS900MXシリーズ

仕様					
サポート機能 【ベーシック機能】	TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、IPv6 Basic、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、MLDv1/v2スヌーピング、NTPv6クライアント、DNSv6クライアント、DHCPv6クライアント、DHCPv6-PD、RAガード、HOLブロッキング防止、Findme、UDLD				
サポート機能 【ライセンス機能】	プレミアムライセンス (AT-XS900MX-FL01) IPv4スタティックルーティング(17ルート以上)、RIPv1/v2(17ルート以上)、IGMPv1/v2/v3、OSPFv2、PIM-SSMv4、PIM-SMv4、PIM-DMv4、EPPSRマスター SES Readyライセンス (AT-XS900MX-FL16) AT-SESC/AMF Securityによるフロースイッチング制御*18				
LED	ポートLED*19				
	L/A <table border="1"> <tr> <td>緑</td> <td>10Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅</td> </tr> <tr> <td>橙</td> <td>100/1000Mbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅</td> </tr> </table>	緑	10Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅	橙	100/1000Mbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅
緑	10Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅				
橙	100/1000Mbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅				
	SFP/SFP+スロットLED*19				
	L/A <table border="1"> <tr> <td>緑</td> <td>10Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅</td> </tr> <tr> <td>橙</td> <td>1000Mbps/2.5Gbps/5Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅</td> </tr> </table>	緑	10Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅	橙	1000Mbps/2.5Gbps/5Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅
緑	10Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅				
橙	1000Mbps/2.5Gbps/5Gbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅				
	ステータスLED (7セグメントとドットによる表示)				
	 緑 VCS機能が無効で、単体での動作時に点灯				
	 緑 VCS機能が有効で、スタックメンバーとして動作時に点灯 (数字はスタックメンバーID)				
	 緑 ファームウェアの起動中に点灯 ファン、内部温度の異常発生時に点灯				
	 緑 LED ON/OFFボタンによるLED OFF設定時に点灯。横3セグメントは以下の状態を表示 上: スタックメンバーのマスターとして動作 中: VCS機能が無効で、単体で動作 下: スタックメンバーのスレーブとして動作				
	 緑 USBメモリー接続時に点灯、 USBメモリーの書き込み/読み出し中に点滅				
	 緑 ファームウェアの起動準備中に点灯				
電源部	AT-XS916MXT      AT-XS916MXS				
定格入力電圧	AC100-240V*20      AC100-240V*20				
入力電圧範囲	AC90-260V*20      AC90-260V*20				
定格周波数	50/60Hz      50/60Hz				
定格入力電流	1.0A      1.0A				
最大入力電流 (実測値)	0.90A*21      1.3A*22				
平均消費電力	67W (最大81W)*21      49W (最大62W)*22				
平均発熱量	250kJ/h (最大300kJ/h)*21      180kJ/h (最大230kJ/h)*22				
環境条件	動作時温度      0~50℃ 動作時湿度      90%以下 (結露なきこと) 保管時温度      -25~70℃ 保管時湿度      95%以下 (結露なきこと)				
外形寸法	210 (W) × 320 (D) × 42.5 (H) mm (突起部含まず)				
質量	2.7kg				
パッケージ内容 *10	本体、電源ケーブル*20、電源ケーブル抜け防止フック、19インチラックマウントキット (1式)、本製品をお使いの前に、梱包内容、英文製品情報*23、製品保証書 (5年間)、シリアル番号シール (2枚)				
オプション (別売)	XS900MXシリーズ用フィーチャーライセンス*24 *25 AT-XS900MX-FL01      プレミアムライセンス AT-XS900MX-FL16      SES Readyライセンス*18				
	SFPモジュール*27:				
	AT-SPTXc      1000BASE-T (RJ-45)*26				
	AT-SPSX      1000BASE-SX (2連LC)				
	AT-SPSX2      1000M MMF (2km) (2連LC)、広範囲温度対応				
	AT-SPLX10a      1000BASE-LX (2連LC)				
	AT-SPLX40      1000M SMF (40km) (2連LC)				
	SFP+モジュール*27 *28:				
	AT-SP10TM      1000/2.5G/5G/10GBASE-T (RJ-45)*29				
	AT-SP10SR      10GBASE-SR (2連LC)				
	AT-SP10LRa/l      10GBASE-LR (2連LC)、広範囲温度対応				
	AT-SP10ER40a/l      10GBASE-ER (2連LC)、広範囲温度対応				
	AT-SP10ZR80/l      10G SMF (80km) (2連LC)、広範囲温度対応				
	AT-SP10TW1      SFP+ダイレクトアタッチケーブル (1m)*30				
	AT-SP10TW3      SFP+ダイレクトアタッチケーブル (3m)*30				
	AT-StackXS/1.0      カップースタックモジュール (1m)				
	AT-RKMT-J15      19インチラックマウントキット (トレイ)*31				
	AT-BRKT-J24      壁設置ブラケット				
	AT-STND-J03      スタンドキット*32				
	コンソールケーブル*10:				
	AT-VT-Kit3      マネージメントケーブル (RJ-45 (メス)/USB)				
	CentreCOM VT-Kit2      RS-232ケーブル (RJ-45/D-Sub 9ピン)				
	AT-PWRCBL-J01L      L字型コネクタ電源ケーブル (左)*33				

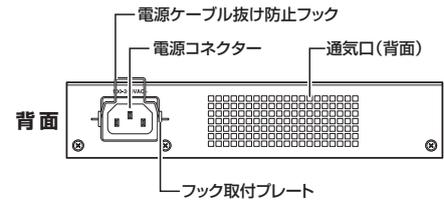
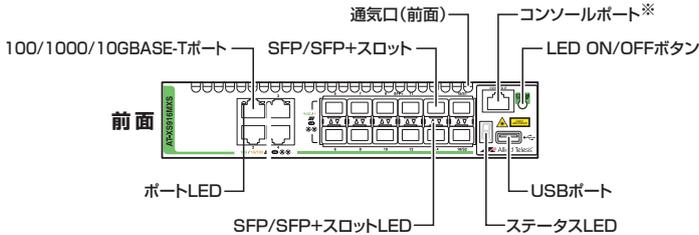
- \*1 対応SFP/SFP+モジュール装着時
- \*2 100/1000/10GBASE-Tポートのみ
- \*3 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree 包含
- \*4 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree 包含
- \*5 IEEE 802.3ad と同等
- \*6 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- \*7 Q-BRIDGE-MIBのみサポート
- \*8 100M/1000M/10G Full Duplexでの接続のみサポートしています。
- \*9 SFP/SFP+スロットのうちポート15、16はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります。
- \*10 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください (AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です)。なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。
- \*11 USB 2.0のUSBメモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- \*12 隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STPケーブルの使用をお勧めします。
- \*13 表中では、K=1024
- \*14 インターフェース経路、スタティック経路、ダイナミック経路など、各種経路情報を含めた登録数です。
- \*15 本製品のAMF Plusメンバー機能はエッジノード向けの限定版であり、通常のAMFメンバーと比べて下記の制限があります。  
・AMF Plusネットワークへの接続がAMF Plusリンク1本に限定されます  
・AMFクロスリンク、AMF仮想リンクは使用できません
- \*16 VCS構成時は、PAUSEフレームの送信 (both) はサポート対象外で、PAUSEフレームの受信 (receive) のみをサポート
- \*17 9216Byte以下
- \*18 ファームウェアバージョン5.4.6-2.1以降にてサポート。サポートするSDNコントローラーは、AMF-SECコントローラー (AT-SESC/AMF Security) です。本ライセンス適用時の、フロースイッチング制御以外の機能動作については、弊社ホームページに掲載のマニュアルおよびコマンドリファレンスをご確認ください。  
なお、ファームウェアバージョン5.4.7-0.x、5.4.7-2.xのそれぞれでライセンス形態が変更されています。5.4.6で発行されたライセンスキーは、ファームウェアバージョン5.4.7以降では使用できなくなります。また、5.4.7-0.x、5.4.7-1.xで発行されたライセンスキーは、5.4.7-2.x以降では使用できなくなります。SES Readyライセンスを適用されている場合、ファームウェアバージョンアップの際にはご注意ください。詳細はリリースノートをご確認ください。
- \*19 LED ON/OFFボタンによって消灯可能 (エコLED)。
- \*20 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
- \*21 AT-SP10ZR80/l × 4個 使用時
- \*22 AT-SP10ZR80/l × 12個 使用時
- \*23 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- \*24 ライセンスのサポートバージョンについてはリリースノートおよび年次アップデート/フィーチャーライセンスページをご参照ください。
- \*25 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。
- \*26 1000Mでの接続のみサポートしています。
- \*27 「広範囲温度対応」付きは、動作時温度が-40~85℃のSFP/SFP+モジュールです。
- \*28 QSFP+4SFP+ブレイクアウトダイレクトアタッチケーブル「AT-QSFP-4SFP10G-3CU/AT-QSFP-4SFP10G-5CU」のSFP+側を使用することはできません。
- \*29 AT-SP10TM使用時は上下左右に隣接するSFP/SFP+スロットを空きスロットにしてください。AT-XS916MXTのSFP/SFP+スロット4個、AT-XS916MXSのSFP/SFP+スロット12個のうち、半数のSFP/SFP+スロットにのみ搭載可能です。
- \*30 SFP+ダイレクトアタッチケーブルをご利用の場合はアライドテレシス製品同士での接続のみサポート対象となり、他社製品との接続はサポート対象外となります。他社製品との接続が必要な場合は、ダイレクトアタッチケーブル以外のSFP+モジュールを用いて、事前に十分な検証を行ったうえで接続するようにしてください。
- \*31 L字型コネクタ電源ケーブルとの併用はできません。AT-RKMT-J15を使用する場合には、最前面から60mm後ろに取り付けることはできません。
- \*32 設置方向 (電源コネクタの位置) によっては、L字型コネクタ電源ケーブルが使用できない場合があります。
- \*33 電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。

## 外觀図

### AT-XS916MXT



### AT-XS916MXS



※ コンソール接続にはオプション（別売）の AT-VT-Kit3 または CentreCOM VT-Kit2 が必要です。

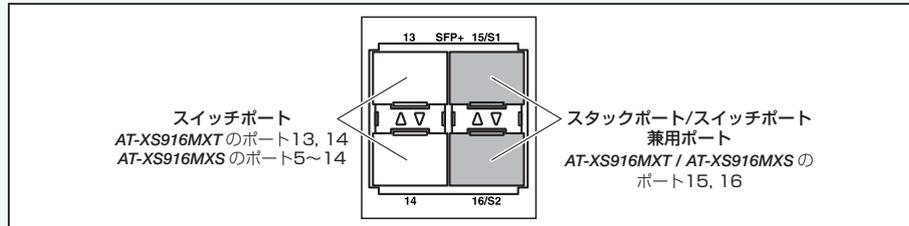
## ● SFP/SFP+スロットを利用したスタック接続 (VCS)

本体100/1000/10GBASE-Tポート、またはオプション（別売）のスタックモジュールAT-StackXS/1.0を使用して、2台のXS900MXシリーズでVCSを構成することができます。

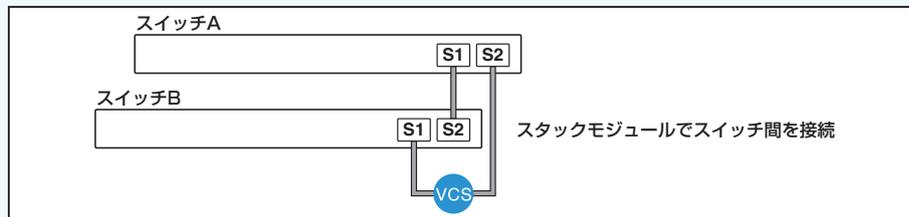
このうち、SFP/SFP+スロットのポート15、16はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。

CLI上で、VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります（VCS機能は初期設定で有効化されています。なお、有効・無効を設定変更するには、システムの再起動が必要になります）。

本製品のSFP/SFP+スロット（図はAT-XS916MXT）



VCS機能有効時、末尾の2ポートはスタックポート1 (S1)、2 (S2) となり、複数のスイッチをリング状に接続するためのポートとして動作します。



※ VCSに関する詳細な情報は、弊社ホームページに掲載されています。ご使用の際は、必ずコマンドリファレンスの「バーチャルシャーシスタック (VCS)」をお読みになり内容をご確認ください。



**安全のために**  
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, CentreNET, SwitchBlade, TELESYN, AlliedView, VCStackロゴ, EPSRingロゴ, LoopGuardロゴ, PoE plusロゴ, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, SecureEnterpriseSDNロゴ, AT-VA, AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows, Windows Server, Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は

0120-860442 テレマーケティング (月～金/9:00～17:30)

販売店

製品の詳しい情報は (特長、仕様、構成図、マニュアル等)

ホームページ <http://www.allied-telesis.co.jp/>

アライドテレシス株式会社

最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル 弊社ホームページ>>会社案内>>事業所一覧